

部局名	教育委員会	所属名	郷土博物館	所属長名	鹿野 泰司	電話	484-9011
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3842	事務事業名称	郷土博物館運営事業				短縮コード	経常	3842	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	郷土博物館費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		郷土博物館の設置及び管理に関する条例							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
平成5年に開館し、歴史・民俗・産業・自然等に関する資料を調査研究し、収集し展示して市民の利用に供するため開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	02	第2章教育文化都市をめざして					
高度化かつ多様化するニーズに基づく企画展や主催講座の充実と地域における活性化に寄与するための方策が必要である。					大項目(節)	03	第3節文化					
					中項目	02	2. 文化財					
					小項目	02	(2)文化資料の収集・保存・活用					
					細項目	01	①保存・展示施設の充実					
						02	②資料の収集と活用					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	子どもから高齢者まで							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 常設展の展示・企画展・縄文土器づくり講座・植物標本づくり講座・古文書講座・ふるさと講座・篆刻講座・竹細工講座・雅楽体験・自然観察会・子ども歴史講座・親子体験講座・伝統装束体験・国際博物館の日記念事業・ミュージアムコンサート等各種講座の開催。 ※平成24年度に計画していること: 23年度と概ね同様。							
意図 (何を狙っているのか)	八千代市に関する自然・歴史・文化について、企画展等各種の行事を通して広く市民の理解を深める。これらのことから、児童・生徒から市民全体の学習・娯楽等の充実を図り、自分たちのまちを愛する心を育む。							
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外							
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市民	人	193,274	196,400	192,884	196,400	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	講座等開催日数	日	36	44	44	50	
	指標2	開館日数	日	286	292	292	299	
	指標3							
成果指標	指標1	入館者数	人	13,937	20,000	16,165	20,000	
	指標2	講座参加者数	人	1,316	2,000	1,352	2,000	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3842	事務事業名称	郷土博物館運営事業		所属名	郷土博物館	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	国	千円					
	県	千円					
	地方債	千円					
	一般財源	千円	6,056	5,966	5,718	5,895	
	その他	千円	1	1	7	1	
主な事業費の内訳			報酬：15千円 賃金：2318千円 印刷製本費：491千円 通信 運搬費：319千円 使用料： 2,249千円	報酬：43千円 賃金：2,351 千円 印刷製本費：197千円 通信運搬費：348千円 使 用料：2,336千円	報酬：36千円 賃金：2,303千 円 印刷製本費：197千円 通 信運搬費：322千円 使用料： 2,230千円	報酬：43千円 賃金：2,351 千円 印刷製本費：144千円 通信運搬費：348千円 使 用料：2,336千円	
人件費(B)		千円	22,152.3	26,901.9	26,779.9	26,901.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,209.3	32,868.9	32,504.9	32,797.9	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型	評価事項	評価区分	理 由	
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「文化資料の収集、保存、活用」を推進するため、郷土博物館運営事業を実施している。	
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある		
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	今後も事業目的の市民への周知徹底を図り、「文化資料の収集・保存・活用」を推進していく必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない			
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項			
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	事業目的を公平に遂行し、利益をあげることは困難であるから、民営化になじまない。また、各種文化財等の博物館資料を責任を持って後世に伝えるのは行政の責務である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない			
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項			
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	所期目的の変化はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある		
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 可能性がない		
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	・開館以来20年が経過し、常設展示の内容・展示方法が旧態化していることなどから、実施内容・体制の改善・充実化を図る。	
<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1	実施主体 (所管部署)
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法		2	実施主体 (所管部署)
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	常設展示の更新については一時的な、各分野スタッフの充実については継続的な経費増となるが、市民ニーズに応えることで理解は深められる。		
	<input type="checkbox"/> ない			

コード	3842	事務事業名称	郷土博物館運営事業			所属名	郷土博物館																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			本事業は教育・学習に係るサービスを提供するという営利を考慮しない事業であること、また文化財等博物館資料を後世に伝えるという永久に継続する事業も併せて行っていること等から民間に委ねる事業ではなく、従来通りの運営形態による一方、市民要望等に基づき内容・体制を充実させ発展させる必要がある。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	常設展示等の旧態化が進んでいるため今後刷新を図る。これによりコスト増となるが、市民のニーズに沿った展示内容とすることで、今後入館者の増加が図れる。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
自分たちの住んでいる市の歴史がよくわかった。印旛沼・新川開発についてまとまった本がほしい。講座にまた参加したい。休日開館をして欲しい。	

所属長コメント	地域の活性化、町おこし等が叫ばれる今日、地域の実態とは何かが問われている。八千代の自然・歴史・文化について、展示や様々な事業をとおして市民に対して理解を深めてきたが、開館以来20年目の節目を迎え、今日的視点での市民対応、展示の更新、事業展開が求められている。なお、本事業は教育・学習に係るサービスを提供するという営利を考慮しない事業であること、また文化財等博物館資料を後世に伝えるという永久に継続する事業も併せて行っていること等から、民間に委ねる事業ではなく「公」が担わなければならないものである。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	展示の更新をはじめ、市民のニーズを踏まえた事業展開について、費用対効果を検証のうえ、順次推進すること。